

令和元年度 第1回 佐倉市立美術館運営協議会

議事録

日 時：令和元年9月7日（土） 14：00～16：00

場 所：佐倉市立美術館 4階会議室

出席者：以下のとおり

（委員 10名）

大久保委員、齊藤委員、田中委員、豊田委員、長澤委員、
樋田委員、広本委員、真木委員、安本委員、吉村委員

（美術館職員 5名）

宍戸館長、本橋副主幹（学芸員）、永山主査（学芸員）、
木邨主査（学芸員）、黒川学芸員

会議次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 会長・副会長の選出
4. 報告事項
 - （1）令和元年度人事異動について（公開）
 - （2）平成30年度事業報告について（公開）
 - （3）令和元年度事業計画等について（公開）
5. その他
6. 閉 会
 - ・展覧会鑑賞（ミテ・ハナソウ2019）

【2. あいさつ】

<館長よりあいさつ>

【3. 会長・副会長の選出】

・会長に樋田委員、副会長に齊藤委員を選出した。

【4. 報告事項】

(1) 令和元年度人事異動について

<館長より説明>

(2) 平成30年度事業報告について(資料4～5頁)

<事務局より説明>

(会長)

平成30年度事業について、報告していただきましたが、何かご意見はございますか？

すぐに出てこないようであれば、令和元年度事業についてお聞きした上で、まとめてご意見を伺うことにいたしましょう。

(3) 令和元年度事業について(資料6～7頁)

<事務局より説明>

(会長)

令和元年度事業について、説明していただきましたが、何かご意見はございますか？平成30年度事業の報告で見えてきた問題点をふまえ、新たな可能性について提言していただけると有難いのですが。

(委員)

「ミテ・ハナソウ展」については、コミュニケーターの養成で頑張っておられますが、今年度は何名、募集をしているのですか？

(美術館)

今年度、4期生の募集をかけたのですが、安定してきたのか、応募数がそれほど多くありませんでした。10名応募があり、書類選考で4名に絞りました。コミュニケーターの養成については集団で研鑽しながら行うため、一定の人数

を揃えたいと考えました。本年の年末に再募集をかけ、10名位で年明けから研修に入りたいと思います。

(委員)

「メスキータ展」は東京駅にあるステーションギャラリーの次に巡回してくるのですね。佐倉は会場として少し近くありませんか？

(美術館)

ここまで近いのは珍しいと思います。昔、デパートの美術館が沢山あった頃は新宿で開催された展覧会が当館へ巡回してくることがありました。東京駅というと、それよりも近い訳ですから。そのため、ステーションギャラリーは8月に展覧会終了、佐倉は翌年の2月の開催で、少し間をあけるようにしています。本当はその間に他の巡回先が入ると良いと考えていたのですが、他は皆佐倉の後に入ってしまったという経緯があります。

展覧会が始まる前は、国内でこれまであまり知られていない作家であったため、動員に不安がありましたが、いざ開催してみると、ステーションギャラリーが大変な反響であったため、その流れに乗れるようにした方が得策なのか検討しております。ステーションギャラリーを鑑賞した方のSNSを拝見すると「ステーションギャラリーで観られなかったのが佐倉に行く」とか、「もう一度観たい」という感想が見受けられたので、そういったご意見をふまえ、広報に努めたいと思います。

(委員)

数年前、歴史民俗博物館で「シーボルト展」を開催したことがありました。NHKの新日曜美術館で紹介してくださったこともあり、多くの方に観ていただけたのですが、直後の巡回先であった江戸博物館では動員数が伸び悩んだと聞いています。

(委員)

以前、文化庁主催で行われた「発見された日本列島展」という巡回展が江戸博物館からスタートしたのですが、千葉県立中央博物館は最後から二番目、1月の開催でした。多くの方が東京でご覧になると思われたのですが、意外にも「東京で見損ねた」、「もう一度観たい」という方が少なくなかったようです。期間が空いたことも幸いしたようです。

(美術館)

この度のステーションギャラリーでの盛り上りの熱が冷めないうちに佐倉の情報を如何に広めていくかが重要だと考えております。

(委員)

「メスキータ展」も東京と佐倉で期間が空いているので、東京で観られなかったという方もう一度観たいという方が多く来館される可能性があると思います。

ます。ちなみに作品はステーションギャラリーと同じ量が展示されるのですか？巡回展の中には途中で作品が抜けてしまうものもありますから。

(美術館)

この度の「メスキータ展」の作品はドイツの個人コレクターからお借りしています。幸いにも、その方には日本でメスキータの名を広めたいという意志があり、佐倉にはステーションギャラリーと同じ作品が展示される予定です。佐倉の50日という会期も版画展としては長いものですが、展示替えなしで開催しても良いと大変寛大な条件を出していただいています。

(委員)

図録はステーションギャラリーと同じものですか？

(美術館)

はい、そうです。サイズの大きい、凝った仕様の図録になっています。価格は3,080円なのですが、ステーションギャラリーの期間中には7,000冊売れたそうです。図録の購入率は10%でも良い数字なのですが、メスキータ展で15%を超えたのは、驚異的かもしれません。デザイン的な要素が若い人に受けたこともあるかと思われます。ただ、製本等に手間がかかるらしく、今増刷をかけているのですが、時間がかかっているようです。

(委員)

メスキータ展を巡回させるにあたり、分担金はかなり高額なのですか？令和元年度予算の「企画展事業費」が約3%増額になっていますが、それと何か関連があるのですか？単純には言えないと思いますが。

(美術館)

展示事業が高く評価されて予算がついたという側面と、消費税の増税が影響していると考えております。年度後半分ですが、影響は少なくないと思われます。予算の内容については、切りつめられる箇所は出来る限り切りつめております。

(委員)

消費税の影響ですね。よく分かりました。

(会長)

「小林ドンゲ展」については如何ですか？今回図録に版画目録を掲載するのですね。大変ではありませんか？

(美術館)

小林ドンゲさんは今年で93歳になっておられますが、これまでに単独の画集がほとんど発行されておられません。今回の展覧会が良い機会だと思い、なるべく詳しい資料を作成しようと考えております。

(委員)

今でも印西市に住んでおられるのですか？

(美術館)

数年前に脳疾患を患われ、今はご長男のおられる茨城県の施設に入っております。

(会長)

この展覧会は巡回しないのですか？

(美術館)

はい、佐倉のみでの開催となります。ただ、かなり小規模になりますが、池袋の創形美術学校の1階ギャラリーで同時期に「小林ドンゲ展」を開催させていただきます。

(会長)

創形美術学校はどのような関係で開催なさるのですか？

(美術館)

昨年、小林ドンゲさんのご長男から当館に「母が施設に入るので、作品を全て預かってほしい」と連絡が入りました。ただ、当館において全ての作品を預かることは難しいと考えたため、版画の教育に熱心な創形美術学校にご相談したところ、快く作品をあずかって下さいました。作品調査については私が創形美術学校に通って調べた次第です。

(委員)

少し間をおいて町田市立国際版画美術館に巡回する方法を考えても良かったかもしれませんね。

(美術館)

町田市立国際版画美術館には小林ドンゲ作品70点の寄贈を受けていただき、大変感謝しております。

(会長)

新しい市長が就任されたと聞いておりますが、8ページに掲載された年間来館者数が今後、重要になってくるのではありませんか？平成30年度は73,574人ですが、平成31年度については、どの位を見込んでおられますか？

(美術館)

29、30年度とほぼ7万3千人ですが、収蔵作品展ではなく、企画展の動員数によって大きく変動いたします。今、開催中の「ミテ・ハナソウ展」もそうなのですが、後半の「小林ドンゲ展」、「メスキータ展」に大きく期待しています。数字としては26年度の8万3千人あたりまで行ってくれることを目標としております。

(会長)

目標を立てることは良いことですね。目標値10万を目指してみても如何ですか？

(委員)

ここは私立の美術館ではないので、この運営協議会に参加するまでは、集客数がどれ位とか、売り上げがどの位であるなど、あまり考えなくても良いのかなと思っていました。ただ、先日モンキーパンチさんが亡くなったというニュースの後、小さい規模でしょうが、「モンキーパンチ展」を開催した美術館があったらしく、早いなと思いました。佐倉も追悼展をやったら人が入るのかなと考えてみたりしました。今回の「メスキータ展」についても、メスキータを知らなくても、エッシャーはみんな知っているのです、こんなに動員があったのかなと。

(美術館)

いただいた予算を最大限に活用し、成果を上げられるように工夫していかなければいけないと考えております。

(委員)

「メスキータ展」は新聞社がついているのですか？

(美術館)

いいえ、後援ではありません。

(委員)

では、地元の新聞社である千葉日報社に連載記事の掲載を提案してみるの如何でしょうか？また、佐倉単独で千葉日報の後援を受けるのは出来ないのですか？

(美術館)

いえ、そんなことはありません。ステーションギャラリーは単独で開催されましたが、当館で検討しているのはオランダ大使館の後援を受けるなどして宣伝が出来ないかということです。

(委員)

レストランでオランダビールフェアなんか良いですね。食べ物は重要かもしれませんね。

(会長)

では、その他について説明していただけますか？

(美術館)

毎年、佐倉市の企画政策課が市民意識調査を実施しておりますが、本年、美術館に関する項目を加えていただきました。「美術館に行った事がありますか？」や「知っているが、行った事が無い」、「知らなかった」等の質問に対する回答の集計が出ています。「知っているが、行った事が無い」や「知らなかった」

と答えた方に「どんなきっかけがあれば、美術館に足を運びますか？」と質問したところ、一番は「興味のある展覧会を開催していれば」という回答が6割あったとの事です。美術館としてはどのような展覧会に興味をお持ちなのか、なんとか模索していかなければならないと考えているところです。今後、この資料に市民の自由意見やグラフ化した資料を加え、年内か年が明けた頃に確定版が発行される予定です。また、その資料についてはご覧頂こうと思います。

(会長)

では、今後もより良い運営を目指していただければと思います。本日はありがとうございました。

(美術館)

それでは、議事はここまでとなります。

【閉 会】